

行政調査報告書

- ・ 皇宮警察本部
- ・ 警視庁
- ・ 警視庁 航空隊江東飛行センター
- ・ 警察庁

令和5年11月28日（火）～29日（水）

大阪維新の会大阪府議会議員団

◇視察期間

令和5年11月28日（火）～11月29日（水）

◇視察参加者

岩木 均、和田 賢治、金城 克典、杉江 友介、西林 克敏、泰江 まさき
計6名（随行なし）

◇視察先

≪第1日目／11月28日（火）≫

- 皇宮警察本部
- 警視庁

≪第2日目／11月29日（水）≫

- 警視庁航空隊江東飛行センター
- 警察庁

◇視察行程

	行程
11月28日 (火)	岩木 均議員、和田 賢治議員、金城 克典議員、杉江 友介議員、西林 克敏議員、 泰江 まさき議員（期別年齢順） 9：06 新大阪発（のぞみ4） 11：33 東京到着、昼食（以下、移動は2日とも借上げジャンボタクシー） （昼食）かこいや <u>千代田区丸の内 1-6-2 新丸の内センタービル 3F TEL：03-5288-7909</u> 13：00 皇宮警察本部 <u>千代田区千代田 1-3 TEL：03-3231-3115</u> 《天皇及び皇后、その他皇族の護衛について》 《大阪、地方への行幸啓、お成り時の関係機関との連携（警備体制）について》 14：15 皇居警察出発 14：55 警視庁 <u>千代田区霞が関 2丁目1番1号 TEL：03-3581-4321</u> 《東京都の交通安全対策（自動車・自転車・キックボード）》 《ハロウィン等の大きなイベントに対する群衆警備の対応について》 16：30 警視庁出発 16：45 ホテル到着（ヴィアインプライム赤坂） <u>港区赤坂 2-6-17 TEL：03-3505-5489</u> 18：30（夕食）意見交換会・懇親会 焼肉 青山外苑 <u>東京都港区南青山 2-12-14 TEL：03-6804-3019</u>
11月29日 (水)	8：50 ホテル出発 9：30 警視庁航空隊江東飛行センター <u>江東区新木場 4丁目7-31</u> 《現地視察》 10：30 警視庁航空隊江東飛行センター出発 11：00 警察庁（議員会館にて対応） ※12：00 頃終了予定 《大阪万博の警備の状況について（テロ・デモ対策、国賓への警備など）》 《刑事手続きのオンライン化に関しての警察庁での概要》 《在日米外国人犯罪についての情勢》 （昼食）議員会館 14：00 東京駅発（のぞみ231） 16：30 新大阪着・解散

◇視察の内容

皇宮警察本部

(目的)

大阪府では、2025 年に大阪・関西万博の開催が控えており、また、「四大行幸啓」の一つである全国豊かな海づくり大会の招致を行っているところ。大阪、地方への行幸啓、お成り時の警備体制について、大阪府警察との連携強化等を含め、意見交換を行う。

(説明者)

皇宮警察本部 警務課 広報官

(概要説明・現場視察)

◆皇宮警察の成り立ち、組織・管轄等

◆皇宮警察の業務

- ・天皇皇后両陛下・皇族各殿下の護衛、皇居等警備（消防活動の任務もあり）
- ・国賓の護衛、信任状奉呈式に伴う各大使の護衛
- ・その他警務等

◆庁舎等視察

(質疑応答)

議員：皇宮警察本部では、何名くらい勤務されているか。

先方：922 名（内事務官は 40 名）。

議員：その方々はすべて常勤か。非常勤の方もいるのか。

先方：本官は皆常勤。再任用で時間短縮の人もいるが。

議員：採用はどれくらいされているか。

先方：40～50 名。ただし、定年延長の影響があり、ここ数年は多かったり少なかったりが続く。

議員：他の警察等と人事交流などは。

先方：交流はある。本部長は警察庁から来ていたり、警備一課での事件捜査や機動隊などは、都道府県警察のほうがノウハウあるので、来てもらったり、皇宮警察も県警等いき、機動隊や刑事の勉強等を行う。

議員：男性の職場というイメージがあるが、先ほどの説明写真の中に女性も映っていた。女

性もたくさんいるのか。

先方：皇宮警察は他の警察と比べ、女性護衛官が多いほう。12.4%ほど。

議員：いつ頃からか。

先方：はっきりした数字はないが、昭和50年代にはじめて女性護衛官が採用され始め、もちろんはじめは少なかったが、大卒を採用し始めてから、増えてきた。現在では採用数の2～3割が女性。退職される方も多いため、全体の割合は伸びていかないが。

議員：騎乗練習はすべての方がされるのか。

先方：制度的には、基本的には護衛1課が業務で行うため、訓練を行う。ただ、後進の育成のため、若い人に騎馬に乗る機会をあたえることもある。

議員：京都御所は外周だけで4kmほどとかなり広いが、何名くらいの方が勤務されているか。

先方：100名くらい。管轄は飛び地があるため、御所自体を護っている人はもっと少ない。

議員：皇宮警察学校に入られる方の特徴はあるか。

先方：基本的には、他の警察学校と変わらないと思うが、護るという意識を持っている、使命感が強い方が多い。

議員：府警本部では、親子や親戚もたくさんいるが、皇宮警察本部もいらっしゃるか。

先方：数は多くないが、家族が護衛官をされていて、入ってくる人もいる。家族の仕事ぶりを見て、3代続けて入られる人も。

議員：堺に陵墓があるが、そこで事件等があった際は、捜査権があるか。

先方：皇室用財産の中で起こった犯罪等は、皇宮警察の捜査権あり。ただし、東京から派遣となると、土地勘等もないため、合同捜査本部をつくる、所轄の警察にお願いする等。

議員：皇居の上にドローンが飛んできたとき、対処は。

先方：都道府県警察の機動隊のほうに資機材あり。また、セクションの退避させる等対応。

議員：今後、万博等開催あり、府警とのタイアップについて、どのようなことを府警に求めていかれるか。

先方：緊密な連携が一番。皇宮警察が直近で護っているが、その周りは府警に守ってもらうことになる。事前の調査やフォーメーション等について、連携を取って打合せ等を密に。

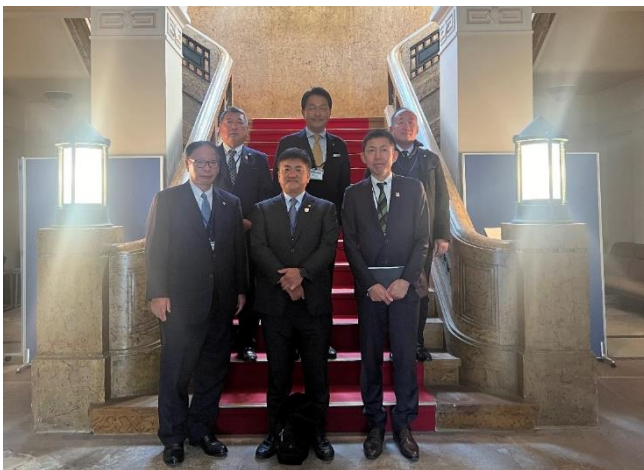
(まとめ)

皇宮警察本部の護衛部では、護衛一課は天皇・皇后、護衛二課は皇太子とその他の皇族、また新たに上皇護衛部が創設され上皇陛下・上皇后の護衛に務めている。また、警備部と共に皇居及び御所の警備のほか、国賓や外国大使の皇居参内時の護衛等、司法警察職員として職務に精励している。

皇宮護衛官の活動地としては、皇居以外で京都御所や各御用邸など1都1府4県において活動を行っている。

また、明治時代より唯一消防隊を編成しており、一般の警察との交流はあるものの独自で採用を行っている。

皇族の護衛等が主な業務であるため、常に緊張感が強いられ、使命感と誇りを高く持っておられるように感じた。



警視庁

(目的)

本年 7 月 1 日から道路交通法が改正され、一定の要件を満たした電動キックボードについては、免許が必要なくなり、ヘルメットについても努力義務に変更となった。これに伴う、東京都の対応について、自転車含めた交通安全対策の現状を聴取する。

あわせて、近年、群衆事故や事件が発生している。大阪府においても花火大会等大きなイベントの開催がある中、雑踏警備に関する対応等について意見交換を行う。

(説明者)

警視庁 企画課 管理官

交通執行課 管理官

警備第一課 警備対策・渉外担当

(概要説明・現場視察)

◆電動キックボード・自転車の取締り

- ・取締りの現状
- ・事故抑止のための事故の場所・時間等の分析
- ・自転車への青切符適用の検討
- ・電動キックボードの実態・啓発活動

◆大きなイベント時の雑踏警備の対応

- ・雑踏事故・トラブルの防止、一般交通の安全・円滑確保
- ・警備広報による整理・誘導

◆資料室・通信指令本部視察

(質疑応答)

議員：ハロウィン時の対策として、今年に関して、行政としては渋谷では「来ないで」と発信しており、池袋では「来て」と発信していたところ。警察として、準備のやり方が違った等あったか。

先方：機動隊の配置はなかったが、近くに待機していた。

議員：雑踏警備において、安倍元総理や岸田総理の事件もあり。イベントごとの警備について、主催者側は、民間の警備会社を利用し、警察側も必要に応じ交通整備等警備を行うと思うが、事件前後と、またコロナ前後と変わった部分あるか。

先方：主催者と管轄する警察署との打ち合わせ回数が増える等。

議員：主催者側も警備費用の捻出が課題。祭りであれば、有料席等で費用捻出。

先方：警視庁としても、主催者側と話を聞き、できるところは協力してやらなければいけないと考えている。

議員：警備広報係は誰でもできるのか。得手不得手があると思われるが。

先方：隊に入ってきた際に、本人の適性を見極めもあるが、そのうえで希望したものを積極的に登用。また、警備広報の部内検定あり、資格を取りながらランクアップ。

議員：技能が特に重要と思うが、検定では技能の試験あるか。

先方：技能が中心。例えば警備現場の映像を見ながら、こういった広報が一番適切か、突発

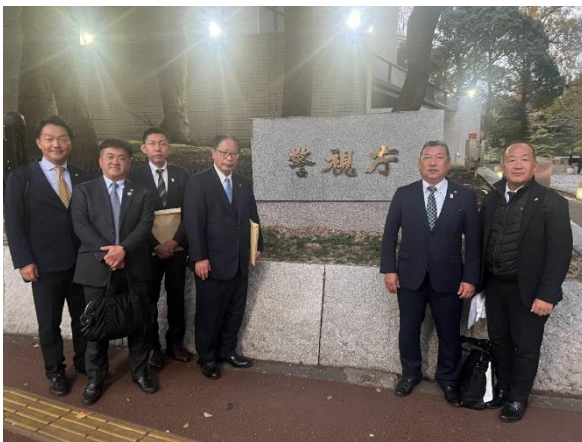
的な違法行為等に応じた注意を行うか等。

(まとめ)

交通安全対策について、自転車の違反取り締まりについて警視庁では信号無視や一時不停止が多く全体の八割を占める。取締り時に青色切符だと、反則金の支払いで、行政罰で終わるが、自転車の場合は悪質だと赤切符になり前科のつく可能性がある。自動車などとのバランスを考えて有識者で検討されているとの事。大阪府でも努力義務となった自転車乗車時のヘルメット着用を推奨し、交通違反の取締りをしているが、自転車の交通違反が重大事故にも繋がる事から一層の強化が必要と思われる。

繁華街に多く見られる電動キックボードも同様に飲酒運転や速度違反などに対応の強化が必要。

雑踏警備対策についてはマスコミから燃焼したDJポリスに注目が集まるが、機動隊広報係が任にあたる。機動隊の現場活動の支援となる。今後は増え続けると見込まれるインバウンド対策で外国語の習得も必要と思われる。



警視庁 航空隊江東飛行センター

(目的)

全国警察に先駆けてヘリコプターが配置された警視庁において、平時のパトロール活動及び、捜索・救助活動、事件等の情報収集活動等の現状について聴取するとともに、機体等の視察を行う。

(説明者)

警視庁航空隊 副隊長

(概要説明・現場視察)

◆航空隊の沿革、組織体制、配置状況

◆活動概要

- ・各種災害対応
- ・各所属からの要請対応
- ・平時の警戒態勢

◆保有航空機配備状況

◆格納庫視察

(質疑応答)

議員：当エリアは東京都がもっているのか。

先方：東京都港湾局が管理。東京ヘリポートの中の一部として警視庁の航空隊の庁舎がある。

他にも東京消防庁や、川崎市消防が入っている。報道のヘリがとまっていることも。

議員：立川と江東はエリアで分かれているのか。

先方：警戒範囲は都内全般。仮に震災が発生した際、江東は軟弱地盤だが、立川は機能する予定。

議員：パイロットは警察官と思うが、採用してからパイロットを養成するのか、資格がある人を採用するのか。

先方：警視庁は9割以上、一般の警察官として採用後、パイロットになりたい人を募集し、身体検査や面接の上、合格した人にライセンスを取りに行ってもらっている。他県では、例えば自衛隊を引退された方を採用と様々のよう。中には、警視庁の航空隊を希

望し、自身でライセンスを取られてからという人もいる。整備は、航空専門学校を卒業した人を採用。

議員：その方々も警察官か。

先方：行政職になる。

議員：距離の範囲は。

先方：基本的には、小笠原以外は飛行可能。過去にかなり無理をしていった記録あり。現在は行っていない。

議員：飛行機を持たない理由はあるか。

先方：固定翼になると、ライセンスが異なってしまう。またホバリングもできないため、救助等に向かない。滑走路の問題もあり。なお、ヘリも機体ごとにライセンスが必要。現在入札の関係もあり、機体の種類が複数あり。

議員：飛行の前後で相当整備を行っていると思うが、それでも1年に1回程度大規模に整備が行われるのか。

先方：航空法の中で決まっている。

議員：職員の勤務体系は。

先方：宿直体制あり。夜間でも緊急フライトできるような体制も整えている。

(まとめ)

ヘリコプターについて、大阪府も6機保有しているが、警視庁航空隊は14機保有しており、昭和34年、装備課による「はるかぜ1号」を配備して運行を開始して以来、現在にわたって無事故を継続中とのこと。活動の中では、数年前に高尾山で相談した歩行困難な年配女性を救助し、一命をとりとめたことが特に記憶に残っていると話が合った。

また、航空隊が保有している14機の中でも機種は異なり、パイロット・整備士のライセンスが機種毎に異なる。ライセンスを習得し、一流のパイロットになるには、最低5年はかかるとのこと。実際に東京ヘリポート内の格納庫にて視察を行い、大小のヘリコプターの前で丁寧な説明をいただいた。



警察庁

(目的)

大阪・関西万博の開催を控え、警備体制について、警察庁と意見交換を行う。併せて大阪府警察のDX化を推進するため、警察庁の業務のオンライン化の動きについて聴取する。

また、大阪府の外国人が多くなる中、ともなうトラブルも懸念されており、昨今の犯罪状況も高度化・複雑化している現状がある。警察行政の強化を図りながら府民の安心安全を確保するためにも、外国人犯罪に係る意見交換を行う。

(説明者)

警備第Ⅰ課 担当者
刑事企画課 担当者
運転免許課 担当者
国際捜査管理官付 担当者

(概要説明)

◆大阪・関西万博への対応

- ・良好な治安の確保、テロ等違法行為への対処、安全かつ円滑な輸送と交通環境の確保
- ・関係機関との連携
- ・オリンピック・パラリンピック、愛・地球博の開催時の対応（参考）

◆刑事手続きのオンライン化

- ・書類の作成・管理を電子データに（法務省中心に検討を進めているところ）
- ・運転免許更新時のオンライン講習

◆在日米日外国人犯罪

- ・検挙件数、国籍、在留資格等の状況
- ・検挙事例
- ・在留外国人の安全確保に向けた対策

(質疑応答)

議員：テロを未然に防ぐための警戒で、防犯カメラをイメージか。大阪府警察も事故が多いところ等に付けているが、警察庁が独自につけられるのか。

先方：防犯カメラをイメージ。資機材について、国負担、府警負担等いろいろあるが、博覧会協会も会場内で監視カメラはたくさんつける予定。国としては、迎賓館等警察の措置が特に必要な部分に追加予定。

議員：オリンピック等の際の警察庁の体制は半年前くらいにされているが、今回もそのような時期に体制が組まれるのか。

先方：スケジュールも現在検討中だが、いずれにしても警察庁としてしっかり体制を作り、府警と連携していく。

議員：金属探知機について、どのようなものを設置するかは、警察庁からの指導か、協会が自主的につけるのか。

先方：愛・地球博であれば、まず協会の方でどのようなものを設置するか等計画し、助言。

議員：オリパラの際は各都道府県警から応援があったと思うが、コロナが蔓延している中、予防接種等感染症対策はどうなっていたか。次の万博の感染症対策の計画はあるか。

先方：特にオリンピックの警備に従事する警察官は、予防接種をしていた。もちろん、感染者が全く出ていなかったわけではないが、結果として、警備に支障が出ることはなかった。大阪・関西万博については今後の検討。厚生労働省等とも調整しながら行う。

議員：万博は海に囲まれた会場になり、海上のテロも警戒する必要がある。府警の中でも船舶あるが、警察庁からも船舶付で応援いただけるか。

先方：府警と調整中の段階。

議員：輸送手段として、バス想定されているが、周辺がかなり渋滞すると見込まれる。警察庁としてどのような対策が見込まれるか。

先方：博覧会協会、府市、国の連携図りつつ、インフラ整備から考えている。交通規制含め考えられる。

議会：警察犬は大阪関西万博でも考えられているか。

先方：どのタイミングでというのはわからないが、会場内外含め警察犬はあり得る。

議員：愛知の際も会場内に警察対策本部の設置はあったか。

先方：詰所のようなものがあった。

議員：刑事手続きのIT化について、令状請求等はオンラインでとあったが、令状本体は紙になるのか。

先方：審議会の場で議論されているところ。これまで通り、受け取ったデータを紙で印字し提示、併せて議論されているのが、タブレット端末にデータを共有し提示。一刻も早く、被害者の身の安全を確保すべき事案に対処していくうえで、安心安全に資するものと考えている。

議員：運転免許更新時のオンライン講習について、現在4都道府県が先行して行われ、令和6年度末全国展開という流れだが、めどはついているか。

先方：警察庁を中心にシステム改修しており、令和6年度末までに行われるので、そのタイミングで全国に参加いただくこと想定。

議員：都道府県でなければいけないことは。

先方：基本的には警察庁のシステムをつなげる形。講習動画については、法令等の全国版に加え、地域の実情に合わせた地域の動画を各府警等で作っていただき、また、アップロードしてもらう環境を用意してもらう必要あり。

議員：先行した４都道府県は何か特徴があったのか。

先方：手を挙げてもらった。

議員：数字的にはどのようなものか。

先方：令和４年２月から５年２月の間で１２万人くらい。アクセスが集中してしまうとできなかった、アプリが途中で落ちてしまった等意見もいただいているので、改修しつつ。

議員：国籍別の検挙件数について、ベトナムの方が多くなっており、犯罪の中身的には、技能実習の方が多いと思うが、凶悪犯罪というより、軽微な犯罪をという認識で良いか。

先方：技能実習の方々が犯してしまう典型的なものは、窃盗などが多くなっている。ベトナムだけでなく、すべての国の技能実習生になるが、凶悪犯罪は１０％も満たないくらい。

議員：コロナ後、令和５年は伸びが高いが、原因は。

先方：件数的には入管法の違反が増えている。不法残留が特に増えているところ。

議員：指示役との接点はどうやってできるのか。

先方：もともと日本にいて、主犯格がガーナに行って、日本で行う。

（まとめ）

2025 年大阪・関西万博は、国家プロジェクトである。国外内から多数の来賓を招くこととなり、大阪が安心・安全なまちであることを PR する絶好の機会でもある。警察庁の方々には、万博開催の成功に向けて、大阪府警と緊密に連携していただくことを要望させていただいた。

また刑事手続きのオンラン化、運転免許更新時のオンライン講習などの、警察業務 DX 化に関しても、国民の利便性が向上するものであるため、大阪府でも積極的導入の推進を合わせて要望した。



以上